



イリハム・マハムティ
Ilham Mahmut

日本ウイグル協会会長、
世界ウイグル会議日本全権代表。1969年ウイグルのコムル(ハミ)生まれ。
2001年来日。著書に『7.5ウイグル虐殺の真実(宝島社)』。

ラジオフリーウイグルジャパン

大学卒業生の再教育と南新疆への投資と漢人移住

2011年7月1日配信 <http://www.youtube.com/watch?v=UMQZjQtt-s0>

そろそろ7月5日ウルムチ事件の時期になって来ました。二年間というのは早いなあ。何故そう思うようになったかという二年間ではウイグル人の運命は何の変わりもなく、逆に前よりも酷い状況に落ちているということです。

新しいウイグル自治区政府の書記になった張春賢というものが、効率よく新疆を作ると、中国で2回目の新疆工作会議を北京で開いてウイグル地域に大金を投資したということになってきたんですけど、実際はこういう投資はウイグル地域にたくさんの中国人を移民させて人数的にウイグル地域を治めるという...彼らはそういうことを考えているでしょう。いずれ民主化になったとしても中国人の人数が上回ったら、ウイグル人には自分の権利は戻らない、という考え方もあったと思いますが問題はそう簡単ではないと私たちは考えています。

このウイグル地域に投資をはじめてから中国は、カシュガル市を深セン市のように特別地域として指定してたくさんのお金を投資したと。それによって大勢の中国人の国営企業、または個人企業がたくさん進出した。彼らは自分の仕事をはじめのために土地が必要だ。彼らのためにカシュガル周辺の農村地域をタダで奪っているということになっているんです。

農民たちには新しい工場、新しい会社を作ったら「あなたたちを雇ってあげますよ」という約束もあったようなのですが、実際はそれは実現していない。ウイグル人たちは土地から追い出している。農民たちは、みなさんがご存知のように土地を失ったらやることは何もなくなる。最後にこの農民たち等に死ぬかどうかお前ら自分で選択しろ、ということになっているんです。

ウイグル人等に最後の最後になってもう戦うしかないというところまで中国人、中国政府は自分でそこまで迫っている。いずれみんながそれに対して対抗するでしょう。

もう一つはウイグル人大学生が学校を卒業した後中国本土で再教育というものを設けて、大学生が大学を卒業したにも関わらずまた中国の本土の大学に2年間再教育を受けなければなりません。新しい政策を設けた。

中国で2年間再教育を受けた後に戻って来たら仕事を紹介すると。でもそれは単なる再教育だけではなかった。先頭部隊として一部の大学生等が中国の浙江省の農林大学に入った。学校からウイグル人の学生等に設けた新しいルールは「ウイグル人学生は公的な場所で三回ウイグル語を喋ってしまったら学校から追い出して元の大学を卒業した身分も取り消す」という制度。ラジオフリーアジアで報道しているしホームページでその文章まで出しているんですね。

今年、9月から卒業した大学生の中から2万5千人が中国本土の大学に行くそうです。そこで2年間教育を受けて、頭を洗って戻ってきたら仕事を紹介することになっている。実際考えると大学生等に中国に反発できないぐらいの教育をさせてウイグル地域に戻っても仕事を紹介しなくても、中国政府に抵抗できないぐらい脅かす政策ではないかと私は思っています。

もう一つ中国政府がやっていることといえば、今月から南新疆、カシュガル、アクス、ホータン、こういう地域から若いもの等を強制的にウイグルの北のほういわゆる北新疆に移住させている。若いもの等だけ。これに反発したら夜、家まで追ってきて若いもの等の両親を脅かして、しょうがないから行くしかない、ということになっている。

これは同じウイグル地域ですからいいじゃないですか、ということをお聞きするかもしれませんがこの問題はそんなに簡単ではないです。中国は大量のお金を投資して、南の四つの地域に投資しているにも関わらず何故ウイグル人の若いものはそこから離れなくてはならないのか。

ウイグル人の80%はこの南の4つの地域に住んでいるんですね。ですから、この80%のウイグル人を分散させたいのが中国の狙いなんです。中国人が多い北新疆の地域、あそこにウイグル人を分散させるとウイグル人を管理しやすくなる。それから南のほうにたくさんの中国人を移住させることによって完全にウイグル地域をコントロールできるという考え方をしている。

それから中国は移住させるだけのことじゃないと思います。南の4つの地域の国境線に繋がっているのは、キルギスタン、タジキスタン、アフガニスタン、パキスタン、インド。インド、パキスタンの間に問題になっているカシミール地域、それからチベットと繋がっているんですね。ですから中国の第一歩はウイグル人を分散させて、あの地域を確実に治めてから、この隣の弱い国々に進出する。

もちろんインドは後に必ず中国と何かあると私は思いますけれど、でもその前には中国が狙っているのはキルギスタン、タジキスタン、それからアフガニスタンとパキスタンも中国が狙っているところであると私は考えています。今、パキスタン人は中国に対して感情的に中国が大好き、中国は自分のたちの世界唯一の友だち...。このまま行くと友だちか敵か将来的に分かったときは、自分が奴隷になったときじゃないかと私は思います。

こういう形で「ウイグル人を中国人が大勢いる地域に移住させて、ウイグル人が大勢住んでいる地域に中国人を大量に連れて来て、そこを完全に中国のものにする」それから先に言ったとおり、完全に永遠に中国人、漢民族のものになるという考え方だと私は思います。

このまま行くと、ウイグル人の怒りも増えているし、それからだんだんと生活基盤が無くなっている。今日食べた明日どうするか? ということになっている。仕事を全部奪われている。土地も奪われている。どうすればいいか?死ぬか対抗するのか? 二つの中から一つを選択しないとイケない。羊だって怒れば人間に抵抗する時期もあるんです。人間っていうものは限界になったときにいろんなことが出て来るのは、それはびっくりすることではないと私は思います。中国はウイグル人たちにそこまで迫っているんです。

ウイグル人が悪い。あれこれと証拠をつかむためにも中国はやっていると思いますが、世界もウイグルのことが分かったし、中国のやり方も分かったし、今年アメリカが公表した全世界のテロリスト、テロリズムの組織の中にウイグルの一人の個人も一つの組織も公表していません。ウイグルのやっていることはテロと関係ないということをアメリカは公表しているんですね。

これは国連がタリバンとアルカイダは両方本質的に違うものであって、タリバンはテロ組織ではないということ。何故ならば自分の国の中だけ活動している。それをアルカイダと同じに見てはいけませんということを決めたのです。それと同時にウイグルも、昔テロ組織としていたトルキスタン・イスラム党のことも今年もテロのリストの中から外した。

それによっていろんな人間が私たちのやっていることが正義である、世界が理解しているという考え方によって活発的な行動に出るかもしれないかもしれませんが、でも私たちはあくまでも世界の理解を得て、自分の民族を幸せにしていくという目標に向かって頑張っていこうと思っております。

Youtubeで配信中です！ 更新情報はこちらにアクセス！
<http://rfuj.net>

フリーウイグル！ウイグル人を支援しよう！



日本ウイグル協会
<http://uyghur-j.org>



世界ウイグル会議
<http://www.uyghurcongress.org>



Radio Free Uyghur Japan
ラジオフリーウイグルジャパン
<http://rfuj.net>



ASIAN FREEDOM NEWS JAPAN
アジアフリーダムニュースジャパン
<http://afnj.org>

